

大沼 淳一

1944年、仙台市に生まれる。

名古屋大学大学院 理学研究科 分子生物学専攻博士課程中退。

元愛知県環境調査センター主任研究員（伊勢湾三河湾の富栄養化メカニズムの研究など）

NPO 法人「みたけ・500万人の木曾川水トラスト」 監事

ため池の自然研究会 幹事

高木仁三郎市民科学基金助成金 選考委員

未来につなげる・東海ネット 市民放射能測定センター 運営委員

内部被曝問題研究会 理事

金城学院大学 非常勤講師

生物多様性条約市民ネットワーク・生命流域部 会長代行

「よみがえれ長良川 よみがえれ伊勢湾」シンポジウム 実行委員長

名古屋で1970年代に結成された反原発キノコの会の最初の呼びかけ人（3人）のうちのひとり

著書・論文に「リスク科学(?)のリスクー巨大科学の暴走としての原発考、科学・社会・人間、117号(2011年)」など。